

# 県退職者連合情報

青森県退職者連合

No.80 2022.10.7

青森市本町3-3-11 連合青森内

TEL 017-735-0551

発行責任者 川村 数彦

2022全国高齢者集会 (9. 14)

## 生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう 規模を縮小し3年ぶりに開催、全国から430名参加

「2022全国高齢者集会」は、9月14日(水)13時から「新宿文化センター」を会場に、検温・マスク着用などコロナ感染対策を徹底し、集会規模を縮小して3年ぶりに開催されました。

集会には全国から430名が参加、青森県退連からは泉事務局長が翌日の「地方代表者会議」と併せて代表参加しました。

### 国葬に法的根拠はない(人見会長)

主催者を代表して人見会長は、安倍元首相の国葬は法的根拠がなく見直されるべきとし、防衛費の倍増、核基地攻撃能力保有、憲法改正の動きに危機感を強め、「岸田政権の防衛政策を厳しくチェックしよう」と訴えました。その後、連合や立憲民主、国民民主、社民の各政党代表から挨拶が行われました。

「基調報告」は野田事務局長が行い、社会保障給付額の増に伴い負担のしわ寄せが高齢者に及んでいるとして、「給付と負担」の本格議論を避けてきた政府を強く批判しました。

集会はその後、「エイジレス・ライフ実践事例」の表章、「もっと気になる社会保障」と題しての講演、杉良太郎氏(俳優・警察庁特別防犯対策監)による「特殊詐欺対策」の講演が行われ、「集会アピール」採択、団結三唱で16時過ぎに終わりました。

尚、来年の「2023全国高齢者集会」は、9月19日(火)「文京シビックホール」を会場に、従来規模(2000人)での開催予定です。



### 第12回連合・ILEC 幸せさがし文化展

<絵画の部> 蝦名 敏昭氏(ろうきん退職者の会)が「シニア特別賞」

<書道の部> 今泉 俊鵬氏(NTT 労組退職者の会・青森支部)が「秀作」

「連合・ILEC 幸せさがし文化展」は、連合の文化活動の一環として連合・教育文化協会(ILEC)主催、退職者連合後援で2年に1回、連合定期大会開催年に行われます。

第12回目となる文化展には、総勢6654点の応募があり、退職者連合関係では205点の応募がありました。審査の結果、退職者連合からは、絵画・写真・書道・俳句の4部門で12人の方が入賞しました。

青森県関係では、＜絵画の部＞で蝦名敏昭氏（ろうきん退職者の会）が「シニア特別賞」、＜書道の部＞で今泉俊鵬氏（NTT 労組退職者の会・青森支部）が「秀作」に入賞しました。

~~~~~

## 2021年度 政策・制度要求自治体要請「総集編」

### 青森県と6市へ高齢者支援策や地域課題について要請

#### 弘前市、むつ市、つがる市、五所川原市、青森市、八戸市



日本退職者連合は、昨年秋から「年金、医療、介護」など2021年度「政策・制度要求」の自治体要請を取り組みました。

全国的には新型コロナウイルス感染拡大の中でも、青森県を含め32の地方退職者連合で実施し、要請した自治体数（市区町村）は324にのぼりました。

青森県退職者連合は、昨年11月19日（金）に開催した第31回定期総会で、8年目の今年も青森県をはじめ、各自治体（市）に対して要請行動を取り組む

＜川村会長（中央）が県に要請書提出＞ ことを確認し、1月から4月にかけて県と6市に対して要請を行いました。尚、八戸市は市長交代の関係で4月27日（水）の実施となりました。

地域退連では、要請事項について連合推薦議員との事前調整や、地域の独自要求など創意工夫した取り組みを行いました。また、要請行動には例年通り連合青森をはじめ、各地協議長や事務局長、推薦議員にも協力を頂きました。ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

### 青森県退職者連合

#### 青森県に対し高齢者が地域で安心して暮らせる基盤整備などを要望

##### 県から新型コロナウイルス感染拡大防止などの高齢者支援策が示される

青森県退職者連合は、1月24日（月）11時から青森県に対し2021年度「政策・制度」に関する要請を行いました。

要請内容と回答要旨については、1月17日（月）、泉事務局長と連合青森副事務局長が、県健康福祉部担当者と事務レベルで事前調整を行い、当日の要請は新型コロナウイルスの感染防止の観点から人数を絞り、県退連から川村会長、連合青森から副事務局長、一戸県議会議員（連合青森推薦）の3名の代表で行いました。

青森県からは1月31日、要請書に対する文書回答が行われました。

### <主な要請事項>

1. 高齢者が地域で安心して暮らせるための基盤整備について

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため外出自粛の高齢者の健康維持、介護予防対策を
- (2) 高齢者や運転免許返納者が病院などへの外出や移動に対する県としての支援を



<左から関副事務局長、川村会長、一戸県議>

- (3) フレイル予防や生きがいづくりのため、生活支援・介護予防サービスの充実を
- (4) 高齢者が地域・在宅での暮らしを支える在宅医療と介護の連携を

2. 高齢者の自転車の交通安全利用対策について

### 弘前地域退職者連合

## 除排雪や歩道の確保など冬期間の安全対策などを三役で要請

(弘前市)

(1) 要請月日 2022年1月18日(火)  
14時～14時10分

(2) 要請者

- ・地域退連 田口会長、福士副会長  
久保田副会長、松原事務局長
- ・津軽地協 谷川議長
- ・協力市議 成田大介(立憲)

(3) 弘前市からは健康福祉部長、介護保険課課長補佐など3名が出席、2月1日文書で回答が行われました。



<左から成田市議、田口会長、谷川議長>

(4) 主な独自要請事項

6. 冬期間における快適ライフの充実について

- ① 除排雪の適宜な実施と歩道の確保
- ② 交通事故防止の観点から、交差点等の「雪の壁」を解消し見通しを良くすること

<第26回参议院選挙・青森県選挙区(7月10日)>

## たなぶまさよ氏 277,009票で見事再選を果たす

7月10日(日)投・開票が行われた参议院選挙「青森県選挙区」は、連合青森・青森県退職者連合が推薦した「たなぶまさよ」氏が自民党候補に大差をつけ2期目の当選を果たしました。ご支援に感謝致します。



## むつ地域退職者連合

### むつ総合病院新病棟建設に関し下北医療センターへも要請書

(むつ市)

(1) 要請月日 2022年2月10日(木)

10時～11時30分

下北医療センター 3月4日(金)

(2) 要請者

- ・地域退連 三上会長、小野事務局長
- ・下北地協 新川事務局長
- ・協力市議 杉浦弘樹(無)

(3) 取り組みに当たっては1月17日に三役会議を、1月31日に第1回幹事会を開催して要請書をまとめました。

(4) むつ市に対し2月10日に要請書を提出したほか、3月4日には「下北医療センター」に要請書を提出し、3月11日と14日付で文書回答が行われました。

(5) 主な独自要請事項



- ① 新型コロナの感染対策について
  - ② 地域防災計画等の推進計画について
  - ③ むつ総合病院の新病棟計画について
  - ④ 死亡に伴う行政機関の各種手続き等について
  - ⑤ むつ市宿泊応援キャンペーンについて
  - ⑥ 不要になった発泡スチロールの処理について
- ← 小野事務局長、三上会長、杉浦市議(右) →



<左から小野事務局長、三上会長>

## 西北五地域退職者連合

### つがる市、五所川原市に特養ホームの整備や新型コロナ対策など求める

(つがる市)

(1) 要請月日 2022年3月9日(木)

14時～14時30分

(2) 要請者

- ・地域退連 外崎副会長、長谷部事務局長
- ・西北五地協 秋田谷事務局長

(3) 要請は、新型コロナウイルス対策についても行き、つがる市からは総務課長、人事係長が対応し、5月2日に文書で回答が行われました。



<左から長谷部事務局長、外崎副会長>

## (五所川原市)

(1) 要請月日 2022年3月16日(水)  
16時～16時30分

### (2) 要請者

- ・地域退連 坂井会長、長谷部事務局長
- ・西北五地協 秋田谷事務局長

(3) 五所川原市からは福祉部長が出席、市からは3月17日に要請書に対する回答書が提出されました。



<右から長谷部事務局長、坂井会長>

### (4) 主な独自要請事項(つがる市、五所川原市同じ)

① 高齢者が地域で安心して暮らせるための基盤整備について

特養老人ホームの整備・拡充、「要介護2以下」の希望者の特例入所を保障すること

② 新型コロナウイルス対策と公衆衛生について

感染拡大防止の観点から、高齢者をはじめ市民へ3回目のワクチン接種に尽力すること

## 東青地域退職者連合

### 小野寺市長に地域退連、連合東青地協、推薦議員合同で要請

## (青森市)

(1) 要請月日 2022年3月25日(金)  
11時40分～12時

### (2) 要請者

- ・地域退連 齋藤会長、宮崎事務局長
- ・東青地協 加藤議長、関事務局長
- ・協力市議 藤田 誠(立憲)、蛭名和子(立憲)  
奈良祥孝(立憲)  
秋村光男(無)、竹山美虎(無)



<齋藤会長(左)が市長に要請書>

### (3) 推薦議員団、地協との意見交換会

要請に先立ち1月18日に、地域退連三役、地協議長・事務局長、推薦議員団5名による「意見交換会」を開催し、要請事項の意思統一と要請時期について協議を行い、3月市

議会終了後に行うことを確認しました。

(4) 3月25日、齋藤会長が小野寺市長に提出し意見交換を行いました。要請書に対する回答は4月8日文書で行われました。

### (5) 主な独自要請事項

① 健康推進事業の推進について

浪岡地区の実践例を広げること

② 認知症関連施策の推進について

フレイルサポーターを導入すること



## 三八地域退職者連合

### 三八地協、市議と共に熊谷新市長に高齢者福祉の充実などを求める

(八戸市)

(1) 要請月日 2022年4月27日(金)  
13時30分～13時50分

(2) 要請者

- ・地域退連 上杉会長、柗谷副会長、松森事務局長
- ・三八地協 武部事務局長
- ・協力市議 田名部裕美

(3) 4月27日、上杉会長が熊谷新市長に要請書を提出しました。要請書に対する回答は5月27日文書で行われました。



<市長に要請書、上杉会長(中央)>

尚、この要請には「デイリー東北」が取材を行い新聞に掲載されました。

(4) 主な独自要請事項

- ① 各種割引制度など高齢者が気兼ねなく外出できる環境整備
- ② 外出時の障害となる段差、傾斜の点検
- ③ 介護職員らの賃金改善が適切に行われるための実態把握と指導監督

<右から田名部市議、武部地協事務局長  
柗谷副会長、上杉会長、松森事務局長>



## 連合青森「2021年度政策制度要求と提言」

### 県退連、各自治体への「おくやみコーナー」設置の推進について要請

#### 住民サービス向上に向けて助言する(青森県回答)

#### Ⅲ. 地域活性化政策

##### 6. 各自治体への「おくやみコーナー」設置の推進について

- (1) 「おくやみ窓口」や「おくやみコーナー」などについては、一部市町村において設置されているが、県内における専門窓口の設置状況について明らかにすること。
- (2) 専門窓口未設置の自治体に対し、国が推進する自治体向けの「おくやみコーナー設置ガイドライン」の活用の推進に向けて、青森県が主導して利用者視点に立った環境整備の支援を行うこと。

(県からの回答) 担当：市町村課 (2022年1月31日)

市町村の行政サービス提供のあり方については、おくやみコーナーの設置も含めて、当該市町村が主体的に判断し、決定すべきものと考えています。県としては、住民サービスの向上等も踏まえた行政運営体制の構築について助言して参ります。